

「ムダづかいだ」の声あいつぐ



税金を使って

桑原元市長の銅像建立!?



■市当局・自民党が推進

桑原敬二元市長の銅像建立 設置場所は博物館敷地内を計画が浮上しました。市当局と自民党などが推進しています。費用は800万円。その財源には税金が含まれます。

■「ブルドーザー市長」の異名。市民から見放された市長

桑原元市長は、人工島事業を着工させるなど「ブルドーザー市長」との異名を持ち、無駄な大型開発を次々推進し、そのもつで税金を食い物にする政官業の癒着構造を作り出して自ら「ゼネコン疑惑」を受けた張本人。莫大な借金を後世に残す一方、

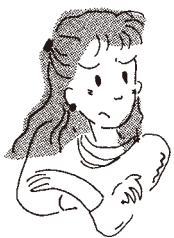
「ブルドーザー市長」の異名。市民から見放された市長。その銅像を市民の大事な税金を使って建てることは不当極まりないことです。

■退任から11年も経ってなぜ

市民からは「暮らしの大変な時に何をしているのか」「税金無駄づかいをするな」と怒りの声があがっています。「市長退任から11年も経ってなぜ

■他の政令市ではないこと

共産党市議団が全国17政令市を調査した結果、元市長の銅像を公費によって建てた例は一つもありませんでした。新聞も「指定市唯一の公



日本共産党福岡市議団

福岡市議会ニュース

1063号 2010年1月 福岡市中央区天神1-8-1市議会11階 電話092-711-4734
ご意見・ご要望をお寄せください。 <http://www.jcp-fukuoka.jp>